



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる128のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。 =晩秋の日豊海岸の食や景色、歴史・文化を満喫してください。=

今月のシーニック・バイウェイ



野生との出会い

この写真は、道の駅「北浦」で撮影された鹿のつかい?の写真です。

5分ほど撮影者と見つめ合っていたそうです。

～蒲江・北浦エリアには、鹿が多くいるようですが、このような写真は珍しいのではないのでしょうか?～

撮影場所:道の駅「北浦」

地域資源（宝）の紹介コーナー

このコーナーでは、日豊海岸シーニック・バイウェイエリアの旬の地域資源（宝）等を紹介します



地域で活動する人



◆村松 一也(ムラツカズヤ)さん～かまえ直送活き粋船団代表～

今回は、日本一ハチマキが似合う男、村松一也さん登場です。村松さんは、日本人の魚離れを危惧し、**魚食民族復活**をかけ、平成17年に仲間と一緒に「かまえ直送活き粋船団」を設立しました。町の過疎化が進む中、郷土「かまえ」に、若い世代が安心して暮らせるような町づくりも心がけているそうです。

村松さんたちの活動で、地元料理「**あつめし**」が農林水産省の郷土料理百選に選ばれるなど人気急上昇中です。

最後に村松さんから一言。「**ファーストフードばかり喰わんで家で魚料理を作らんか！！**」…お母さん方、よろしくお願いします…



村松 一也さん



歴史・文化資源



◆蒲江八景⑥(佐伯市蒲江)

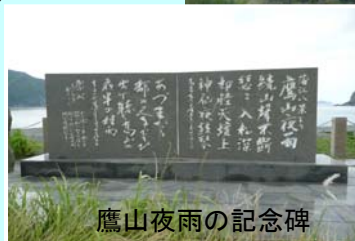
鷹ではなく”鳶(トビ)”?

高山海岸にある蒲江八景の記念碑には「鷹山夜雨【ようざんやう】(高山)」の詩が刻まれています。

「雨の音が止まず、風の音が松の木を巡り、まるで夜に神々が音楽を奏でているようだ」と意識されます。

鷹山(たかやま)は、高山海岸に面する山です。戦後松くい虫のため松は全滅したそうです。

鷹が棲む山から「鷹山」と呼ばれていたのが「高山」に変わったようです。



鷹山夜雨の記念碑



記念碑背後の高山(鷹山)



食



◆アワビの口開け(解禁日)

蒲江のアワビは、産卵のための禁漁期間(11月1日～12月10日)を経て、12月11日に漁が解禁されます。豊後水道のミネラルたっぷりの海水で育ったアワビは、うまみが凝縮され、最高の食材として食されます。昔は、甘露煮が主流でしたが、バターを使って焼いて食べてもおいしいようです。



アワビ



◆「北浦のはまゆう塩」復活

昨年12月に火災で焼失した道の駅「北浦」の製塩作業場が再建され、「北浦のはまゆう塩」が復活しました。当面は1日50kgの限定販売ですが、在庫が確保でき次第増やしていくそうです。



自然・景観資源

◆黒ばえ(佐伯市蒲江)



蒲江の海岸には、はえ(ばえ)と呼ばれる『水面に張り出した岩礁』が数箇所あり、高山海岸線にあるのが黒ばえです。秋になり、波も高くなってきました。釣りやマリンスポーツを楽しむ方はくれぐれも安全に注意してください。～

←里の駅たかひら展望公園から望む黒ばえ



◆のじぎく(里の駅たかひら展望公園)

佐伯市蒲江の秋の風物詩「のじぎく」が見頃を向かえます。**11月18日(日)は里の駅 たかひら展望公園でのじぎく祭り**が開催される予定です。秋の一時、可憐なのじぎくの花を觀賞してはいかがでしょうか？

のじぎくの花→

活動報告 ◆みちづくしin熊本が開催されました。

10月26日に道守(みちもり)九州会議交流会の「みちづくしin熊本」が開催されました。本会は、九州の道のボランティアの集いで、佐伯から”蒲江道づくりを考える女性の会”他14名が参加しました。交流集会では、カラフルな大漁旗の衣装や伊勢えびのかぶり物、地元の特産品等も持ち込み蒲江のPRも行いました。いつもながら大分県の元気が目立った交流会となりました。



大分県チームの挨拶の様子

活動報告 ◆九州一さいき・味力(魅力)UPシンポジウム

11月7日、佐伯文化会館で”九州一さいき・味力(魅力)UPシンポジウム”が開催されました。

小俣郁雄氏おまた いくおの講演「佐伯の「宝」の活かし方～高速道路開通のチャンスとピンチ～」、「九州一さいき・ツーリズム重点戦略」案の紹介、パネルディスカッションと大変盛り上がり、感動的なシンポジウムでした。

今後、関係機関が一体となりツーリズム関係者ととともに、おもてなしの充実や蒲江IC付近へのインターパーク整備など、戦略の具体化を推進することにより、大きなポテンシャルを秘めた佐伯観光の魅力アップが期待されます。



パネルディスカッションの様子



活動報告 ◆九州風景街道テーマ別会議

11月5日に、北九州市で九州風景街道テーマ別会議が開催されました。テーマは”にぎわい創出”で「日豊海岸シーニック・バイウェイ」「玄界灘風景街道」「北九州おもてなしの”ゆっくりかいどう”」の3ルートが集まり、現状報告と今後の展開を意見交換しました。

現状について説明する古田事務局長→



お知らせ ◆猪串トンネルが貫通しました。

10月25日、佐伯土木事務所が施工している国道388号小蒲江森崎浦バイパスの猪串トンネルにおいてトンネル貫通式が開催されました。式には、地元区長、施工者など約40名が参加しました。今後は、覆工コンクリート工や舗装、照明工などの工事を行い、一日も早い工事完成を目指します。



貫通点清めの儀

お知らせ ◆～東九州自動車道「蒲江～北浦」開通記念イベント～

「ツナガル県境！日豊海岸 佐伯&延岡GOGOまつり」開催

待望の東九州自動車道の大分県、宮崎県の県境「蒲江～北浦」間の開通を間近に控え、県境に位置する佐伯市と延岡市の魅力を一堂に会したイベントを実施します。

○開催日時 平成24年11月24日(土)11:00～17:30

○場 所 佐伯市総合運動公園 佐伯市武道場 横広場

◆問い合わせ先: 佐伯市観光協会
TEL 0972-23-1101



お知らせ ◆Facebookのページを始めました **Facebookで** 友達の輪を広げよう

日豊海岸シーニック・バイウェイのFacebookのページを始めました。情報発信ツールとしてだけでなく皆様からの情報提供ツールとしても活用して頂き日豊海岸シーニック・バイウェイの活動がこれまで以上に活発になればと思います。アドレス:<http://www.facebook.com/nippoukaigan>

東九州自動車道建設情報



須美江～延岡間供用

東九州道の須美江IC～延岡JCT・IC間(約18.4km)が平成24年12月15日開通します。今回の開通により、物流の効率化や地域間交流の活性化等が期待されます。



延岡JCT・ICの現状

東九州自動車道(佐伯～北川間)の工事捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～県境間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

県境～北川間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://kyushu1-saiki.sakura.ne.jp/nippou-kaigan/nippoukaigan.html>

皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0813 大分県佐伯市長島町1-2-1 (大分県佐伯総合庁舎1階) 一般社団法人佐伯市観光協会内
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 調査第二課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489